

財務分析〔添削問題 第1回〕

【問題1】

次の設問に答えなさい。解答にあたっては、各設問とも指定した字数以内で記入すること。
財務分析の限界について説明しなさい。(400字以内) (20点)

【問題2】

次に掲げる各指標について、収益性の指標は「A」、活動性の指標は「B」、生産性の指標は「C」、流動性の指標は「D」、健全性の指標は「E」、成長性の指標は「F」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。(10点)

- ア 受取勘定回転率
- イ 総資本経常利益率
- ウ 完成工事高増減率
- エ 職員1人当たり付加価値
- オ 配当率
- カ 安全余裕率
- キ 運転資本保有月数
- ク 純支払利息比率
- ケ 固定資産回転率
- コ 立替工事高比率

【問題3】

次の＜資料＞に基づいて、(A)～(C)の金額を算定するとともに、自己資本比率および固定比率も算定し、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。この会社の会計期間は1年である。なお、解答に際しての端数処理については、解答用紙の指定のとおりとする。(20点)

＜資料＞

1. 貸借対照表

貸借対照表				(単位：百万円)
流動資産	979,400	流動負債	392,000	
固定資産	(各自計算)	(うち短期借入金	186,000)	
		固定負債	(A)	
		(うち長期借入金	(B))	
		資本金	(C)	
		資本剰余金	54,400	
		利益剰余金	120,000	
	(各自計算)		(各自計算)	

2. 関連データ(注1)

完成工事高	1,376,400百万円	総資本回転率	0.80回
借入金依存度	40.00%(注2)	自己資本増減率	4.25%
前期末自己資本	480,000百万円		

(注1) 算定にあたって期中平均値を使用することが望ましい比率についても、便宜上、期末残高の数値を用いて算定している。
(注2) 有利子負債に該当する項目は、上記に示したもの以外にはない。